

第 163 回 日本循環器学会東北地方会

プログラム

会 期：平成 28 年 12 月 3 日(土)午前 8 時 55 分より

会 場：仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山 TEL 022 (265) 2211

第 1 会場：橘 (2F)

第 2 会場：萩 (2F)

第 3 会場：白檀 1 (3F)

第 4 会場：白檀 2 (3F)

第 5 会場：小会議室 1 (1F)

第 6 会場：小会議室 2 (1F)

会長 下川 宏明

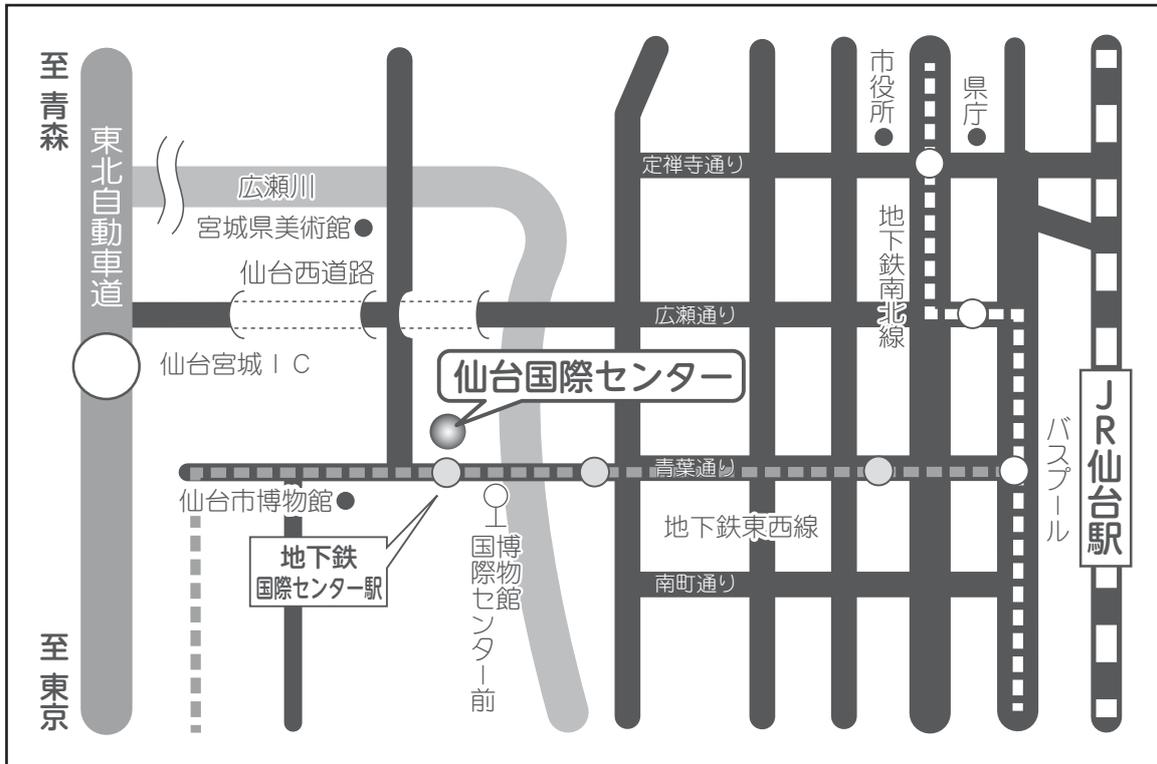
事務局：東北大学 循環器内科学

仙台市青葉区星陵町 1 - 1

TEL 022 (717) 7153 FAX 022 (717) 7158

- 当日受付にて参加費のお支払いをお願いいたします。
(医師/その他 3,000円、コメディカル 1,000円、学生・初期研修医 無料)
 - 一般演題：発表時間は5分(予鈴4分)、追加討論2分、YIAの発表時間は7分(予鈴6分)、追加討論3分とします。時間厳守をお願いします。
 - コンピュータープレゼンテーションによる発表のみとします。
 - Windows版PowerPoint2007、2010、2013で作成して下さい。
 - 動画は使用できません。
 - Macintosh及び持込PCでの発表はできません。
 - 発表30分前まで**に、作成したデータをUSBメモリに入れてPC受付にお持ち下さい。
 - データのファイル名には演題番号(半角)に続けて発表者の氏名(漢字)を必ずつけて下さい(例：10仙台太郎.ppt)。
 - 不測の事態に備えて必ずバックアップデータをお持ち下さい。
※35mmスライドによる発表はできません。
 - 本会場内に託児施設を設置いたします。
ご希望の方は東北支部HPをご参照の上、11月25日(金)までにお申し込みください。
 - 学術集会(5単位)、教育セッション(3単位)とします。
 - DVDセッション「医療安全・医療倫理に関する講演会」を「1F小会議室1」で行います。
専門医認定更新に必修の2単位が取得できます。(P.24参照)
- 追記：学会案内状・プログラムは、原則として日本循環器学会会費納入者に限り発送いたします。
会場にクロークの設置はございません。

会場へのアクセス



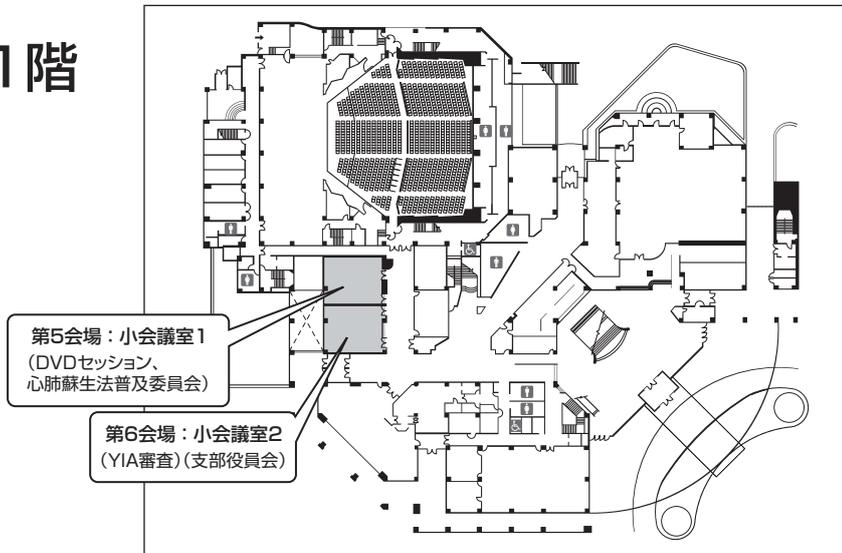
会場：仙台国際センター 〒980-0856 仙台市青葉区青葉山
 TEL:022-265-2211 FAX:022-265-2485

仙台国際センターまでの交通機関

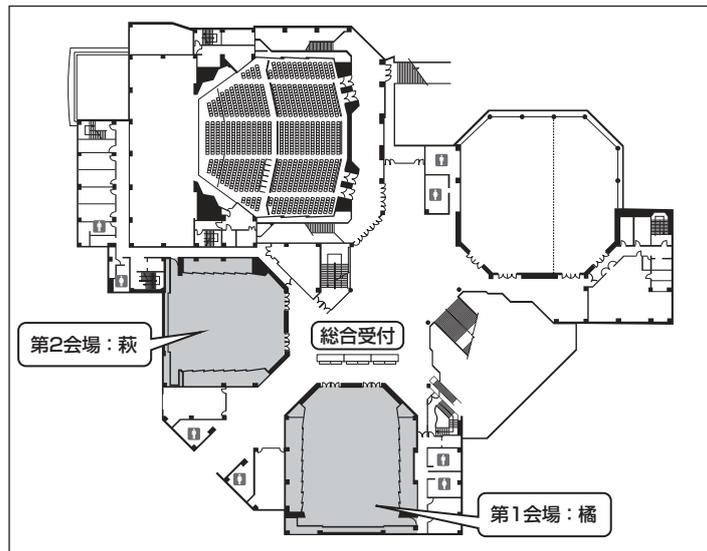
- 【地下鉄】
 - ・仙台市営地下鉄東西線
 - ・八木山動物公園方面「国際センター駅」下車
 - ・料 金：片道 200 円 ・所要時間：仙台駅より 約 5 分
- 【バ ス】
 - ・乗 車：仙台駅西口バスプール 9 番のりばより
 710 「宮教大・青葉台」
 713 「宮教大・成田山」 715 「宮教大」
 719 「動物公園循環（青葉通・工学部経由）」
 720 「交通公園・川内営業所」 のいずれかにお乗りください。
 - ・降 車：「博物館国際センター前」でお降りください。
 - ・料 金：片道 180 円 ・所要時間：約 10 分
- 【タクシー】
 - ・仙台駅より所要 約 7 分／料金 1,000 円程度
- 【自家用車】
 - ・東北自動車道仙台宮城 I.C. から所要 約 5 分
 （仙台西道路経由：「仙台城」方面の標識に従ってご走行ください）

会場案内図 (受付は2Fです)

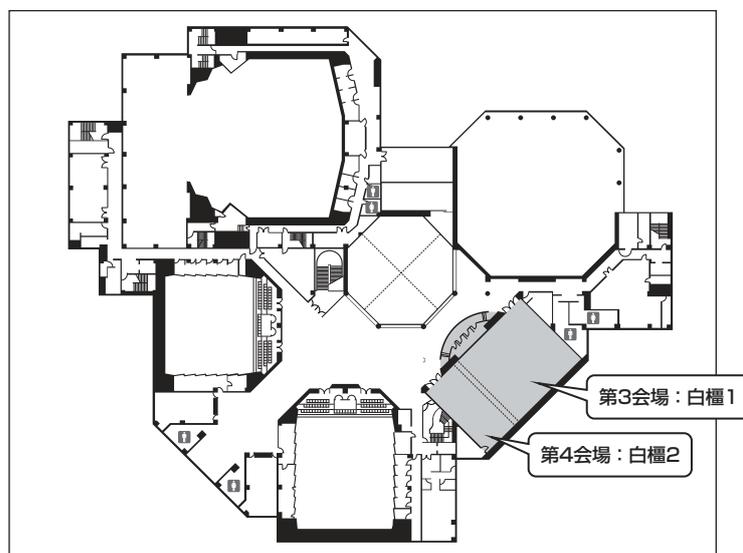
1階



2階



3階



※仙台国際センターHPより

プログラム (敬称略)

	第1会場 2F 橘	第2会場 2F 萩	第3会場 3F 白檀1	第4会場 3F 白檀2	第5会場 1F 小会議室1	第6会場 1F 小会議室2
8:00	8:00 受付開始					
	8:55～9:00 開会挨拶					
9:00	9:00～9:50 YIA 症例発表部門 座長 下川宏明 (東北大学)	9:00～9:35 心筋炎・心筋症1 座長 清野義胤 (星総合病院)	9:00～9:35 不整脈1 座長 福井昭男 (山形県立中央病院)	9:00～9:42 心内膜炎 座長 青木竜男 (東北大学)		9:00～9:42 肺・先天性 座長 杉村宏一郎 (東北大学)
		9:35～10:10 心筋炎・心筋症2 座長 及川雅啓 (福島県立医科大学)	9:35～10:10 不整脈2 座長 遠藤秀晃 (岩手県立中央病院)	9:42～10:24 末梢血管・疫学 座長 山本義人 (いわき市立総合 磐城共立病院)	9:00～10:30 DVDセッション 医療安全・医療倫理 に関する講演会	9:42～10:17 心不全・その他 座長 池田こずえ (篠田総合病院)
10:00	9:50～10:40 YIA 研究発表部門 座長 下川宏明 (東北大学)	10:10～10:45 虚血性心疾患1 座長 樋熊拓未 (弘前大学)	10:10～10:45 不整脈3 座長 木村正臣 (弘前大学)			
	10:40～11:15 弁膜症 座長 渡邊博之 (秋田大学)	10:45～11:20 虚血性心疾患2 座長 浪打成人 (仙台オープン病院)	10:45～11:20 心筋炎・心筋症3 座長 齊藤秀典 (岩手県立中部病院)	10:25～11:55 男女共同参画セミナー 座長 伏見悦子 (平鹿総合病院)		10:40～11:15 YIA 審査会 集計 (10:40～11:00) 審査会 (11:00～11:15)
11:00	11:15～11:50 大動脈・静脈 座長 藤原敏弥 (市立秋田総合病院)	11:20～11:55 虚血性心疾患3 座長 伊藤智範 (岩手医科大学)	11:20～11:55 心膜・腫瘍 座長 渡邊 哲 (山形大学)	八木卓也 (岩手県立胆沢病院)		11:15～11:45 支部役員会
					11:45～12:00 心肺蘇生法普及委員会	
12:00	12:00～12:40 支部評議員会 YIA 授賞式					
	12:50～13:50 教育セッション1 ランチョンセミナー1 木村 正臣 弘前大学大学院医学研究科 高血圧・脳卒中内科学講座 座長 竹石 恭知 (福島県立医科大学)	12:50～13:50 教育セッション2 ランチョンセミナー2 矢坂 正弘 国立病院機構 九州医療センター 脳血管センター 座長 久保田 功 (山形大学)				
13:00	13:50～14:50 教育セッション3 特別講演 古家 大祐 金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学 座長 下川 宏明 (東北大学)					
14:00						
14:50						

* 平成 27 年 12 月より、下記 3 つの会を開催します。
 「支部役員会 (毎回開催)」「支部社員総会 (毎年 6 月のみ開催)」、「支部評議員会 (毎回開催)」
 従来通り一般会員の先生方のご参加は可能ですが、議決権は有しません。

YIA 症例発表部門 (第1会場) 9:00 ~ 9:50

座長 下川 宏明

01 巨大バルサルバ洞動脈瘤の冠動脈圧排により心筋虚血を来した一例

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学

○岩川 英弘、飯野 貴子、佐藤 輝紀、眞壁 伸
関 勝仁、小山 崇、飯野 健二、渡邊 博之
伊藤 宏

秋田大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学

山本 浩史

02 パリペリドンによるカテコラミン不応性を察知し集中治療で救命できた重症心不全の一例

山形大学 医学部 第一内科

○熊谷 遊、有本 貴範、和根崎真大、沓澤 大輔
岩山 忠輝、田村 晴俊、西山 悟史、高橋 大
穴戸 哲郎、山中 多聞、宮本 卓也、渡邊 哲
久保田 功

03 馬後脚による鈍的胸部外傷により三尖弁および僧帽弁閉鎖不全と二束ブロックを来した一例

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○國分 知樹、及川 雅啓、一條 靖洋、松本 善幸
横川 哲朗、中里 和彦、鈴木 均、斎藤 修一
竹石 恭知

福島県立医科大学 心臓血管外科学講座

佐藤 善之、新城 宏治、高瀬 信弥、横山 斉

04 心室細動で発症し冠攣縮性狭心症と肺高血圧症を合併した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の1例

東北大学 循環器内科学

○紺野 亮、建部 俊介、杉村宏一郎、青木 竜男
山本 沙織、矢尾板信裕、佐藤 遥、神津 克也
羽尾 清貴、高橋 潤、中野 誠、福田 浩二
下川 宏明

東北大学 血液免疫病学

白井 剛志、石井 智徳

東北大学 呼吸器内科学

杉浦 久敏

平鹿総合病院 循環器内科

中嶋 壮太

05 急性肺血栓栓症の再燃を繰り返した Klippel-Trenaunay Syndrome の1例

岩手県立中部病院 循環器内科

○土川 幹史、齊藤 秀典、佐々木 航、井筒 大人
西澤 健吾、盛川 宗孝

(発表順…五十音順)

YIA 研究発表部門 (第1会場) 9:50 ~ 10:40

座長 下川 宏明

06 心エコー検査で検出される拡張期肺動脈前方血流の臨床的意義—成人例での検討

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学

○梅田 有理、渡邊 博之、飯野 貴子、新保 麻衣
佐藤 和奏、渡部久美子、真壁 伸、伊藤 宏

07 消化管出血患者が受けていた抗血栓療法とその理由

仙台市医療センター仙台オープン病院

○佐藤 公一、浪打 成人、杉江 正、瀧井 暢
牛込 亮一、加藤 敦
下川 宏明

東北大学 循環器内科学

08 慢性心不全患者において左室駆出率の変化が予後に及ぼす影響—CHART-2 研究からの報告—

東北大学 循環器内科学

○辻 薫菜子、坂田 泰彦、後岡広太郎、三浦 正暢
小野瀬剛生、阿部 瑠璃、及川 卓也、笠原信太郎
佐藤 雅之、白戸 崇、高橋 潤、宮田 敏
下川 宏明

09 心房細動への高周波およびクライオアブレーションに伴う食道粘膜や食道神経叢への熱傷害メカニズムの検討

福島県立医科大学 循環器内科学講座

○松本 善幸、金城 貴士、野寺 穰、上岡 正志
鈴木 均、義久 精臣、斎藤 修一、石田 隆史
竹石 恭知

10 他覚的栄養指標 CONUT スコアは末梢動脈疾患患者の予後を予測する

山形大学 医学部 循環・呼吸・腎臓内科学講座

○横山 美雪、渡邊 哲、大瀧陽一郎、西山 悟史
有本 貴範、高橋 大、穴戸 哲郎、宮本 卓也
久保田 功

(発表順…五十音順)

弁膜症（第1会場） 10:40～11:15

座長 渡邊 博之

- 11 重症大動脈弁狭窄症に対する外科的大動脈弁置換術と経皮的動脈弁植込術の比較検討
仙台厚生病院 循環器内科 ○多田 憲生、遠田 佑介、桜井 美恵、水谷有克子
松本 崇、大友 達志
仙台厚生病院 心臓血管外科 鈴木 智之、畑 正樹
仙台厚生病院 麻酔科 井上 洋
- 12 大動脈弁二尖弁による大動脈弁閉鎖不全症と左室緻密化障害が合併した一例
東北大学 循環器内科学 ○佐藤 遥、杉村宏一郎、青木 竜男、建部 俊介
山本 沙織、矢尾板信裕、神津 克也、紺野 亮
佐藤 公雄、下川 宏明
- 13 重症大動脈弁狭窄症に対する緊急バルーン拡張術の臨床成績
いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科 ○高木 祐介、工藤 俊、塙 健一郎、瀬川 将人
相澤健太郎、山本 義人、杉 正文
東北大学 循環器内科学 下川 宏明
- 14 当科における大動脈弁狭窄症に対する弁置換術施行患者の現状
みやぎ県南中核病院 循環器内科 ○高橋 妙珠、伊藤 愛剛、竹内 智、塩入 裕樹
富岡 智子、小山 二郎、井上 寛一
- 15 低心機能を伴った重症大動脈弁狭窄症に人工心肺サポート下でTAVIを施行した2例
東北大学 循環器内科学 ○土屋 聡、松本 泰治、高橋 潤、杉村宏一郎
菊地 翼、羽尾 清貴、進藤 智彦、須田 彬
杉澤 潤、下川 宏明
東北大学病院 心臓血管外科 熊谷紀一郎、川本 俊輔、齋木 佳克

大動脈・静脈（第1会場） 11:15～11:50

座長 藤原 敏弥

16 心臓腫瘍との鑑別を要した壁在血栓を伴うバルサルバ洞動脈瘤の一例

秋田大学大学院 医学系研究科 循環器内科学

○新保 麻衣、梅田 有理、田村 善一、木村 俊介
真壁 伸、関 勝仁、小山 崇、飯野 健二
渡邊 博之、伊藤 宏

17 心室中隔欠損症の経過観察中に valsalva 洞動脈瘤破裂をきたした一例

日本海総合病院

○遠藤 誉宙、桐林 伸幸、青野 智典、後藤 準
齋藤 悠司、禰津 俊介、本田晋太郎、菊地 彰洋
近江 晃樹、菅原 重生

18 大動脈解離に対する胸部ステントグラフト内挿術（TEVAR）の成績

岩手県立中央病院 心臓血管外科

○片平晋太郎、小田 克彦、伊藤 校輝、高橋 悟朗
長嶺 進

19 原発性鎖骨下静脈血栓症(Paget-Schroetter 症候群)に対してリバロキサバンにより治療した1例

石巻赤十字病院 循環器内科

○高畑 葵、石垣 大輔、小張 祐介、土屋 隼人
安藤 薫、玉淵 智昭、小山 容、祐川 博康

20 留置から1年を経て IVC filter を抜去した1例

東北大学 循環器内科学

○神津 克也、青木 竜男、杉村宏一郎、建部 俊介
山本 沙織、矢尾板信裕、佐藤 遥、後岡広太郎
佐藤 公雄、下川 宏明

心筋炎・心筋症 1 (第2会場) 9:00～9:35

座長 清野 義胤

21 カテコラミン心筋症で発症した褐色細胞腫の一例

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 循環器内科

○青山 有、藤原美貴子、島田 俊亮、柴原 徹
藤原 敏弥

地方独立行政法人 市立秋田総合病院 泌尿器科

中川 正康、小林 瑞貴、小峰 直樹、三浦 喜子
阿部 明彦、石田 俊哉、松尾 重樹

きびら内科クリニック

鬼平 聡

秋田大学医学部 循環器内科学分野 伊藤 宏

22 心機能低下と左室中隔菲薄化は自然軽快したがステロイド治療を開始した心サルコイドーシスの一例

岩手県立中部病院 循環器内科

○佐々木 航、齊藤 秀典、土川 幹史、井筒 大人
西澤 健吾、盛川 宗孝

23 ペースメーカー植え込みにより化学療法を継続し得た心アミロイドーシスの一例

福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

○一條 靖洋、及川 雅啓、松本 善幸、横川 哲朗
中里 和彦、鈴木 均、斎藤 修一、石田 隆史
竹石 恭知

24 突然の心室刺激閾値上昇をきたし、プレドニゾロンが著効した房室ブロックに対するペースメーカー植込後の一例

岩手県立中央病院

○照井 洋輔、遠藤 秀晃、門坂 崇秀、中田 貴史
渡辺 翼、佐藤謙二郎、金澤 正範、近藤 正輝
高橋 徹、中村 明浩、野崎 英二

25 典型的な MELAS を呈さなかった A3243G 変異によるミトコンドリア心筋症の一例

福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

○和田 健斗、及川 雅啓、松本 善幸、横川 哲朗
中里 和彦、鈴木 均、斎藤 修一、石田 隆史
竹石 恭知

心筋炎・心筋症 2 (第2会場) 9:35～10:10

座長 及川 雅啓

26 精査入院中に過換気となり逆タコつぼ型心筋症を発症し、TdPを起こした TAFRO 症候群の 1 例

仙台市立病院 循環器内科

○鈴木 啓資、八木 哲夫、石田 明彦、三引 義明
山科 順裕、佐藤 弘和、中川 孝、佐藤 英二
小松 寿里、佐藤 舞、井筒 琢磨

27 たこつぼ型心筋症と完全房室ブロックを合併した一例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○山中 信介、篠崎 毅、石塚 豪、尾上 紀子
山口 展寛、藤田 央、高橋 佳美、人見 泰弘
林 秀華

28 左室心尖部に血栓を生じ全身性多発性塞栓症を呈したたこつぼ心筋症の一例

気仙沼市立病院循環器科

○小枝 秀仁、圓谷 隆治、但木壮一郎、尾形 和則

29 妊娠 37 週でくも膜下出血を発症し、心不全を合併、心機能低下が遷延した 1 例

いわき市立総合磐城共立病院 循環器内科

○埴 健一郎、瀬川 将人、工藤 俊、高木 祐介
相澤健太郎、山本 義人、杉 正文
下川 宏明

東北大学 循環器内科学

30 尿路感染からタコつぼ型心筋症を発症した一例

東北労災病院 循環器内科

○山家研一郎、川名 暁子、武田 瑤平、佐治 賢哉
田中 光昭

虚血性心疾患 1 (第2会場) 10:10 ~ 10:45

座長 樋熊 拓未

31 本態性血小板増多症を背景に冠動脈ステント内血栓症を繰り返した一例

公立置賜総合病院 循環器内科 ○佐藤 淳耶、石野 光則、立花 紳吾、竹村 昭宣
北原 辰郎、新関 武史、山内 聡、池野栄一郎

32 完全内視鏡ガイド下左内胸動脈剥離にて MICS OPCAB を行った一例

竹田総合病院 心臓血管外科 ○川島 大、遠藤圭一郎、齋藤 正博、前場 寛

33 大動脈弁置換術後に左冠動脈主幹部病変による不安定狭心症を来した一例

太田総合病院附属太田西ノ内病院 循環器センター 循環器内科
○安藤 卓也、小松 宣夫、君島 勇輔、金澤 晃子
石田 悟朗、武田 寛人
太田総合病院附属太田西ノ内病院 循環器センター 心臓血管外科
佐々木 理、高橋 皇基、丹治 雅博

34 冠攣縮による非閉塞性冠動脈心筋梗塞 (MINOCA) が疑われた一例

東北大学 循環器内科学 ○須田 彬、高橋 潤、羽尾 清貴、菊地 翼
進藤 智彦、杉澤 潤、松本 泰治、伊藤 健太
下川 宏明

35 単冠動脈症に対する経皮的カテーテルインターベンションの1例

岩手県立中央病院 循環器内科 ○遠藤 成、高橋 徹、中田 貴史、門坂 崇秀
渡辺 翼、照井 洋輔、佐藤謙二郎、金澤 正範
近藤 正輝、遠藤 秀晃、中村 明浩、野崎 英二

虚血性心疾患 2 (第2会場) 10:45 ~ 11:20

座長 浪打 成人

36 左回旋枝側枝を責任病変とする急性心筋梗塞に乳頭筋断裂を合併した1例

東北大学 循環器内科学

○杉澤 潤、羽尾 清貴、須田 彬、崔 元吉
進藤 智彦、菊地 翼、松本 泰治、高橋 潤
伊藤 健太、坂田 泰彦、下川 宏明

37 完全房室ブロックを合併した左前下行枝を責任枝とする急性心筋梗塞の一例

弘前大学大学院 医学研究科 循環器腎臓内科

○川村 陽介、外崎 桃子、遠藤 知秀、西崎 史恵
横山 公章、横田 貴志、山田 雅大、樋熊 拓未
富田 泰史

38 透析患者において第二世代薬剤溶出ステントの stent fracture により慢性完全閉塞をきたした症例

JCHO 仙台病院

○滝澤 要、湊谷 豊、尾形 公彦

39 冠動脈バイパス術後に大伏在静脈グラフトの瘤化を認めた一例

大崎市民病院循環器内科

○青柳 肇、高橋 望、藤橋 敬英、山内 毅
竹内 雅治、岩渕 薫

40 心房細動が心筋梗塞の予後に及ぼす影響の検討

仙台市医療センター 仙台オープン病院

○牛込 亮一、浪打 成人、佐藤 公一、瀧井 暢
杉江 正、加藤 敦

虚血性心疾患3 (第2会場) 11:20 ~ 11:55

座長 伊藤 智範

41 無症候性 Multivessel Disease の一例

公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 循環器内科

○佐久間裕也、水上 浩行、谷川 俊了、鈴木 智人
金澤 正晴

42 心不全加療後の冠動脈造影で偶発的に指摘された冠動脈血栓症の一例

山形県立中央病院

○鈴木 智隆、志鎌 拓、鈴木 康太、大道寺飛雄馬
加藤 重彦、高橋 克明、玉田 芳明、福井 昭男
松井 幹之、矢作 友保、後藤 敏和

43 甲状腺機能亢進時に冠攣縮による心室細動を発症した一例

東北大学 循環器内科学

○梶谷 翔子、菊地 翼、土屋 聡、杉澤 潤
須田 彬、崔 元吉、進藤 智彦、羽尾 清貴
松本 泰治、高橋 潤、伊藤 健太、下川 宏明

44 アセチルコリン負荷試験にて Myocardial Bridging 部位に spasm が誘発された冠攣縮性狭心症の一例

弘前大学大学院 医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○市川 博章、横山 公章、遠藤 知秀、西崎 史恵
花田 賢二、横田 貴志、山田 雅大、樋熊 拓未
富田 泰史

45 プラスグレル内服中に多発性直腸潰瘍を発症した一例

東北労災病院 循環器内科

○武田 瑤平、佐治 賢哉、山家研一郎、川名 暁子
田中 光昭

不整脈1 (第3会場) 9:00～9:35

座長 福井 昭男

46 デバイス感染を来しレーザーリード抜去および皮下植込み型除細動器植込み術を施行した特発性心室細動症例

東北大学 循環器内科学

○千葉 貴彦、福田 浩二、中野 誠、長谷部雄飛
平野 道基、木村 義隆、深澤恭之朗、三木 景太
諸沢 薦、下川 宏明

47 PCPSにより救命し得たトリカブト中毒の一例

岩手県立中央病院 循環器内科

○中田 貴史、野崎 英二、中村 明浩、高橋 徹
遠藤 秀晃、佐藤謙二郎、金澤 正範、照井 洋輔
門坂 崇秀、近藤 正輝、渡辺 翼

48 ホジキンリンパ腫の放射線治療 39 年後に生じた高度房室ブロックに対しペースメーカ植え込み術を行った 1 例

国立病院機構 仙台医療センター 循環器内科

○林 秀華、高橋 佳美、山中 信介、藤田 央
山口 展寛、尾上 紀子、石塚 豪、篠崎 毅

49 非典型的な 12 誘導心電図の経過を辿った Ebstein 病に合併した顕性 WPW 症候群の 1 例

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○野坂 匡史、小路 祥紘、西崎 公貴、石田 祐司
佐々木憲一、堀内 大輔、木村 正臣、佐々木真吾
富田 泰史

50 右室乳頭筋起源心室頻拍に対するカテーテルアブレーションが奏功した不整脈原性右室心筋症症例

東北大学 循環器内科学

○中野 誠、福田 浩二、長谷部雄飛、平野 道基
木村 義隆、千葉 貴彦、深澤恭之朗、三木 景太
諸沢 薦、下川 宏明

不整脈 2 (第3会場) 9:35 ~ 10:10

座長 遠藤 秀晃

51 誘発性と ATP 感受性に相違を認めた両肺静脈起源の focal AT

弘前大学大学院 医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○中田 真道、小路 祥紘、西崎 公貴、石田 祐司
佐々木憲一、堀内 大輔、木村 正臣、佐々木真吾
富田 泰史

52 ペースメーカ植込み術を行った 6 か月後に、持続性心室頻拍を発症した心サルコイドーシスの 1 例

岩手医科大学 内科学講座 循環器内科

○中村真理絵、大和田真玄、芳沢 礼祐、森野 禎浩
岩手医科大学 内科学講座 心血管・腎・内分泌内科
梶田 房紀、小松 隆、中村 元行

53 集学的治療により感染リスクを最小限に抑制したデバイス感染抜去後の洞不全合併梗塞後心不全の一例

弘前大学 大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

○西崎 公貴、石田 祐司、佐々木憲一、小路 祥紘
富田 泰史

弘前大学 大学院医学研究科 不整脈先進治療学講座

佐々木真吾、堀内 大輔

弘前大学 大学院医学研究科 高血圧・脳卒中内科学講座

木村 正臣

54 心源性塞栓を 2 度起こした心房細動の一例

いわき市立総合磐城共立病院循環器内科

○瀬川 将人、工藤 俊、塙 健一郎、高木 祐介
相澤健太郎、山本 義人、杉 正文

東北大学 循環器内科学

下川 宏明

55 前失神の原因として心室頻拍と心房頻拍の鑑別が重要であったファロー四徴症術後の 1 例

東北大学 循環器内科学

○三木 景太、福田 浩二、中野 誠、長谷部雄飛
平野 道基、木村 義隆、千葉 貴彦、深澤恭之朗
諸沢 薦、下川 宏明

不整脈3 (第3会場) 10:10～10:45

座長 木村 正臣

- 56 心室中隔深層に起源を持つと推測され治療に難渋した His 束近傍心室性期外収縮の2例
福島県立医科大学循環器内科 ○武藤 雄紀、上岡 正志、金城 貴士、野寺 穰
松本 善幸、鈴木 聡、小林 淳、鈴木 均
竹石 恭知
- 57 徐脈頻脈症候群に対する心房細動アブレーション後、遠隔期に洞機能が改善した一例
秋田県立脳血管研究センター ○田代 晴生、寺田 健、阿部 芳久、小武海雄介
藤原理佐子
秋田大学医学部附属病院 小山 崇、伊藤 宏
- 58 発作性心房細動患者の運動耐用能とカテーテルアブレーションによる洞調律維持の関連
東北大学 循環器内科学 ○深澤恭之朗、福田 浩二、中野 誠、長谷部雄飛
木村 義隆、千葉 貴彦、三木 景太、下川 宏明
- 59 経静脈リード3本植込み症例の内頸静脈血流パターン
秋田大学 大学院 医学系研究科 循環器内科学
○佐藤 和奏、渡邊 博之、新保 麻衣、佐藤 輝紀
真壁 伸、飯野 貴子、関 勝仁、小山 崇
飯野 健二、伊藤 宏
- 60 透析施行中のフレカイニド中毒に対して血漿交換が奏功した一例
大崎市民病院 循環器内科 ○茂住 武尊、山内 毅、藤橋 敬英、青柳 肇
高橋 望、矢作 浩一、竹内 雅治、岩渕 薫

心筋炎・心筋症 3 (第3会場) 10:45 ~ 11:20

座長 齊藤 秀典

61 急性心筋炎の臨床的特徴の検討—劇症化する急性心筋炎の心電図の特徴はなにか

岩手医科大学 医学部 5年 ○安齋 潤、荒川 夢香、押切 祐哉、小林 敬正
林 瑞香
岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野
伊藤 智範、森野 禎浩

62 左室同期不全と重症僧帽弁逆流症による心不全に対し左室再同期療法が奏功した1例

福島県立医科大学 附属病院 循環器内科学講座
○佐藤 悠、八巻 尚洋、益田 淳朗、金城 貴士
鈴木 均、斎藤 修一、石田 隆史、竹石 恭知

63 高血圧、腎機能障害を合併した肥大型心筋症の一例

山形県立新庄病院 ○村形 寿彦、廣野 摂、結城 孝一、奥山 英伸

64 I型CD36欠損症を合併した拡張型心筋症の1例

星総合病院 循環器内科 ○小島 裕紀、清野 義胤、安齋 文弥、肱岡奈保子
清水 竹史、松井 佑子、金子 博智、坂本 圭司
木島 幹博、丸山 幸夫

65 植え込み型補助人工心臓装着患者における肺高血圧症に関する検討

東北大学 循環器内科学 ○青木 竜男、杉村宏一郎、建部 俊介、山本 沙織
矢尾板信裕、佐藤 遥、神津 克也、後岡広太郎
佐藤 公雄、下川 宏明
東北大学 心臓血管外科 秋山 正年、川本 俊輔、齋木 佳克

心膜・腫瘍（第3会場） 11:20～11:55

座長 渡邊 哲

66 心嚢液貯留を契機に診断に至った悪性心膜中皮腫の一例

秋田厚生医療センター 循環器内科

○貝森 亮太、阿部 元、庄司 亮、松岡 悟
田村 芳一、齊藤 崇

秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学

渡邊 博之、伊藤 宏

67 左心耳閉鎖術の数年後に左心耳内血栓と腎梗塞を発症した一例

秋田大学 大学院 医学系研究科 循環器内科

○木村 俊介、飯野 貴子、佐藤 輝紀、岩川 英弘
関 勝仁、新保 麻衣、飯野 健二、渡邊 博之
伊藤 宏

68 心タンポナーデを来した心臓原発滑膜肉腫の1例

青森県立中央病院 循環器科

○森川 友樹、舘山 俊太、金城 貴彦、鈴木 晃子
楡引 基、今田 篤、藤野 安弘

69 骨盤内腫瘍を伴う非感染性血栓性心内膜炎による多発脳梗塞の1例

一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

○白戸 弘志、目時 典文、萩井 譲士、保嶋 実

弘前大学大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座

富田 泰史

済生会熊本病院 心臓血管センター 奥村 謙

70 心嚢腔内に発生した肺動脈起源の悪性神経鞘腫瘍の一例

みやぎ県南中核病院 循環器内科

○竹内 智、富岡 智子、伊藤 愛剛、塩入 裕樹
小山 二郎、井上 寛一

東北大学病院 心臓血管外科 長沼 政亮、川本 俊輔、齋木 佳克

心内膜炎（第4会場） 9:00～9:42

座長 青木 竜男

71 リード抜去後に遺残した Ghost 様の構造物を 3D-TEE で観察でき、血栓であった事が示唆された 1 例

仙台厚生病院 循環器科

○伊澤 毅、本多 卓、田中綾紀子、箴井 宣任
松本 崇、堀江 和紀、桜井 美恵、多田 憲生
宗久 雅人、宗久 佳子、大友 達志、井上 直人
目黒泰一郎

仙台厚生病院 心臓血管外科

山谷 一広

72 閉塞性肥大型心筋症に合併した感染性心内膜炎の 1 例

星総合病院 循環器内科

○野崎 祐司、清野 義胤、安齋 文弥、肱岡奈保子
清水 竹史、松井 佑子、金子 博智、坂本 圭司
木島 幹博、丸山 幸夫

73 感染性心内膜炎により急性期大動脈弁自己心膜弁置換を行うも感染が遷延し、両弁再置換術を要した 1 例

山形県立中央病院

○志鎌 拓

74 左室後壁基部の左室内血栓により脳塞栓症を来すも速やかな血栓回収により社会復帰できた一例。

岩手県立中央病院循環器内科

○泉 聖也、遠藤 秀晃、門坂 崇秀、中田 貴史
渡辺 翼、照井 洋輔、佐藤謙二郎、金澤 正範
近藤 正輝、高橋 徹、中村 明浩、野崎 英二

岩手県立中央病院神経内科

土井尻遼介、高橋 賢

岩手県立中央病院脳神経外科

木村 尚人、菅原 孝行

75 再発性感染性心内膜炎の一例

東北大学 卒後研修センター

○迫田 みく

東北大学 循環器内科学

青木 竜男、杉村宏一郎、建部 俊介、山本 沙織
矢尾板信裕、神津 克也、佐藤 遥、後岡広太郎
佐藤 公雄、下川 宏明

76 術前診断が困難であった healed IE の 2 例

平鹿総合病院 循環器内科

○長谷川純郎、伏見 悦子、芝 翔、中嶋 壮太
武田 智、深堀 耕平、高橋 俊明、堀口 聡

末梢血管・疫学（第4会場） 9：42～10：24

座長 山本 義人

- 77 間歇性跛行を有する両側外腸骨動脈線維筋性異形性に対して経皮的バルーン拡張術を行った一例

公立置賜総合病院 循環器内科 ○竹村 昭宣、新関 武史、石野 光則、北原 辰郎
山内 聡、池野栄一郎

- 78 腸間膜動脈閉塞を呈した Leriche 症候群に対して側副血行路である腹腔動脈への EVT が有効であった一例

秋田大学 大学院 医学系研究科 循環器内科学
○山中 卓之、飯野 健二、関 勝仁、渡部久美子
加藤 宗、渡邊 博之、伊藤 宏

- 79 SFA の血栓性閉塞における血栓溶解療法を併用した 2-step EVT 法の検討

いわき市立総合磐城共立病院 ○工藤 俊、山本 義人、瀬川 将人、埜 健一郎
高木 祐介、相澤健太郎、杉 正文
東北大学 循環器内科学 下川 宏明

- 80 OPTIMO Sheathless カテーテルの併用にて SFA のステント内血栓性閉塞の完全血行再建に成功した一例

いわき市立総合磐城共立病院 ○工藤 俊、山本 義人、瀬川 将人、埜 健一郎
高木 祐介、相澤健太郎、杉 正文
東北大学 循環器内科学 下川 宏明

- 81 高齢者心不全の臨床的特徴と予後規定因子についての検討 -CHART-2 研究からの報告-

東北大学 循環器内科学 ○佐藤 雅之、坂田 泰彦、後岡広太郎、佐藤謙二郎
小野瀬剛生、辻 薫菜子、及川 卓也、阿部 瑠璃
笠原信太郎、山内 毅、白戸 崇、高橋 潤
下川 宏明
東北大学 循環器 EBM 開発学 宮田 敏

- 82 心疾患既往のない安静時スクリーニング心電図において ST 部分低下を示す患者の長期予後について

医療法人 社団 仁明会 齋藤病院
○盛田 真樹

肺・先天性（第6会場） 9：00～9：42

座長 杉村 宏一郎

83 下肢静脈奇形に合併した静脈血栓塞栓症の一例

山形大学 医学部 第一内科 ○小林 祐太、宮本 卓也、山浦 玄斎、西山 悟史
高橋 大、有本 貴範、穴戸 哲郎、渡邊 哲
久保田 功

84 筋緊張性ジストロフィーに急性肺塞栓を合併し、外科的血栓摘除術により救命した一例

竹田総合病院 心臓血管外科 ○遠藤圭一郎、川島 大、齋藤 正博、前場 寛

85 バルーン肺動脈形成術を安全に施行できたハイリスク中枢型慢性血栓塞栓性肺高血圧症の一例

東北大学 循環器内科学 ○神津 克也、青木 竜男、杉村宏一郎、建部 俊介
山本 沙織、矢尾板信裕、佐藤 遥、佐藤 公雄
下川 宏明

86 胸部ステントグラフト内挿術で治療した動脈管開存症の1例

福島県立医科大学 会津医療センター 循環器内科
竹田総合病院 心臓血管外科 ○渡邊孝一郎、星野 弘尊、玉川 和亮、鶴谷 善夫
川島 大

87 成人動脈管開存症に合併した感染性心内膜炎の一例

仙台市立病院 循環器内科 ○佐藤伊佐雄、植田 寿里、井筒 琢磨、佐藤 舞
鈴木 啓資、佐藤 英二、中川 孝、佐藤 弘和
山科 順裕、三引 義明、石田 明彦、八木 哲夫

88 チアノーゼを呈した肺高血圧を伴わない心房中隔欠損症の一例

弘前大学 大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座
○成田 憲紀、山田 雅大、遠藤 知秀、西崎 史恵
花田 賢二、横山 公章、横田 貴志、樋熊 拓未
富田 泰史

心不全・その他（第6会場） 9：42～10：17

座長 池田 こずえ

- 89 偶然発見された左室内血栓が診断の契機となった、右室脂肪変性が疑われる左室心筋緻密化障害の一例
寿泉堂総合病院 ○薬師寺たつみ、鈴木 智人、水上 浩行、谷川 俊了
金澤 正晴
- 90 日本の慢性心不全患者における健康意識と心不全入院に関する研究－CHART-2 研究からの報告－
東北大学 循環器内科学 ○阿部 瑠璃、坂田 泰彦、三浦 正暢、小野瀬剛生
辻 薫菜子、笠原信太郎、及川 卓也、佐藤 雅之
後岡広太郎、白戸 崇、高橋 潤、下川 宏明
東北大学 循環器 EBM 開発学 宮田 敏
- 91 心不全患者における東日本大震災後の心的外傷後ストレス障害の予後への影響－CHART-2 研究より－
東北大学 循環器内科学 ○小野瀬剛生、坂田 泰彦、後岡広太郎、白戸 崇
辻 薫菜子、阿部 瑠璃、及川 卓也、笠原信太郎
佐藤 雅之、高橋 潤、下川 宏明
東北大学 循環器 EBM 開発学 宮田 敏
- 92 慢性心不全の心不全入院好発時期・危険因子：CHART-2 研究
東北大学 循環器内科学 ○後岡広太郎、坂田 泰彦、小野瀬剛生、辻 薫菜子
及川 卓也、阿部 瑠璃、笠原信太郎、佐藤 雅之
白戸 崇、高橋 潤、下川 宏明
東北大学 循環器 EBM 開発学 宮田 敏
- 93 神経因性膀胱の治療が有効であった、繰り返す心不全の1例
平鹿総合病院 循環器内科 ○堀口 聡、芝 翔、長谷川純郎、中嶋 壮太
武田 智、深堀 耕平、伏見 悦子、高橋 俊明

日本循環器学会 男女共同参画フォーラム

12月3日(土) 10:25~11:55

日循東北地方会 第4会場 (仙台国際センター3階 白檀2)

次世代のための男女共同参画

— 医学界以外の視点から学ぶ gender equality —

座長: 伏見 悦子 先生 (平鹿総合病院 循環器内科 診療部長)

八木 卓也 先生 (岩手県立胆沢病院 循環器内科 科長)

・ 開会の辞:

富岡 智子 先生 (みやぎ県南中核病医院 循環器内科 部長)

・ 講演:

『ある男性循環器医の“育児休暇”取得報告』

深堀 耕平 先生 (JA秋田厚生連 平鹿総合病院 循環器内科)

『社会における女性活躍促進の現状、
知っていますか?』

松尾 亜紀子 先生 (慶應義塾大学 理工学部 教授)

・ ディスカッション

・ 閉会の辞:

竹石 恭知 先生 (福島県立医科大学

循環器・血液内科学講座 主任教授)



日本循環器学会東北支部

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1 医学部2号館5階 循環器内科医局内

YIA 審査会 10:40 ~ 11:15 (第6会場:1F 小会議室2)
支部役員会 11:15 ~ 11:45 (第6会場:1F 小会議室2)
心肺蘇生法普及委員会 11:45 ~ 12:00 (第5会場:1F 小会議室1)
支部評議員会・YIA 授賞式 12:00 ~ 12:40 (第1会場:2F 橘)

教育セッションⅠ

ランチョンセミナー1 12:50 ~ 13:50 (第1会場:2F 橘)

座長:福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座 教授 竹石 恭知 先生

「進化する心房細動治療 ~日本での医師主導研究 J-ACRE の結果から~」

弘前大学大学院医学研究科 高血圧・脳卒中内科学講座

准教授 木村 正臣 先生

共催:第163回日本循環器学会東北地方会
バイエル薬品株式会社

教育セッションⅡ

ランチョンセミナー2 12:50 ~ 13:50 (第2会場:2F 萩)

座長:山形大学 内科学第一講座 教授 久保田 功 先生

「心房細動における適切な抗凝固療法~頭蓋内出血を回避する治療戦略~」

国立病院機構 九州医療センター 脳血管センター 部長 矢坂 正弘 先生

共催:第163回日本循環器学会東北地方会
第一三共株式会社

教育セッションⅢ

特別講演 13:50 ~ 14:50 (第1会場:2F 橘)

座長:東北大学 循環器内科学 教授 下川 宏明 先生

「糖尿病腎症に対する新たな治療戦略~心・腎連鎖の克服を目指して~」

金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学 教授 古家 大祐 先生

共催:第163回日本循環器学会東北地方会
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

DVDセッション

「医療安全・医療倫理に関する講演会」

専門医の認定更新に必修の「医療安全・医療倫理に関する研修」に関する2単位を取得できるDVDセッションを開催致します。

3月の日本循環器学会学術総会もしくはインターネットでも視聴できます。詳細は以下をご覧ください。

<必修研修と単位数>

2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。

専門医認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

(1) 最新医療の知識習得に関する研修……30単位以上

日本循環器学会主催の学術集会・地方会（いずれも教育セッションを含む）への参加にて単位を取得してください。

該当の研修単位数……本会年次学術集会 10単位、（学術集会時の）教育セッション 5単位、各地方会 5単位、（地方会時の）教育セッション 3単位

(2) **医療安全・医療倫理に関する研修……2単位以上**

本会学術集会または本会地方会で開催の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加。あるいはインターネットでの視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

単位数……（上記どの方法で取得されても）2単位

※同じ研修内容を視聴された場合には重複して単位は加算されませんのでご注意ください。

お問い合わせ先：（一社）日本循環器学会 専門医制度委員会
TEL：03-5501-0863 E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総 則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会 員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。
2. 支部名誉会員 / 支部特別会員 / 支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社 員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。
2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。
2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。
2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。

3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第11条 各地方会に会長1名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第12条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年1回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認(JCS-ITC報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要 (事後確認可) とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。

5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要（事後確認可）とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附 則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に 違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。
 - 1) 規程について正しい知識がなかったこと
 - 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
 - 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部運営内規

(総 則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を東北支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東北大学大学院医学系研究科循環器内科学内に設置する。

(支部長・副支部長)

第3条 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は4月1日からとする。

2. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない
3. 支部長が本支部とは別の支部に異動した場合、支部長として退任となる。

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長に事故あるとき、または支部長が別支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。

(支部役員)

第4条 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部長推薦枠として本支部においては、会員である東北地区6大学の循環器を担当する内科の教授が就任することとする。その他にも支部役員として必要な人物がいる場合は、支部長が推薦する。

2. 任期中において各大学教授の交代があった場合は役員も変更となるが、就任期間は前任者を引継ぐこととする。
3. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。

2. 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、本支部においては、支部運営から独立性をもった者を、支部長が候補者を会員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
3. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 担当幹事1名、その他幹事を若干名とし、支部役員、支部評議員との兼務

も可能とする。

2. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
3. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
4. JCS-ITC 業務担当幹事は、会員かつファカルティーの中から選出することとする。ファカルティーがいない場合は会員かつコースディレクターの中から選出する。
5. 支部幹事は、それぞれの業務において投資が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第7条 支部規程第10条に定める支部評議員は、支部役員1名の推薦により選出し、支部役員会及び支部社員総会において承認する。

2. 候補者は、支部役員会予定日より15日以前に所定の用紙を用いた履歴書、業績書及び支部役員1名が署名・捺印した推薦書を支部長へ提出する。
3. 支部評議委員会に正当な理由なく3回連続して欠席した者、退会した者、東北地区から移動した者は、支部評議員の資格を喪失する。
4. 支部評議員の任期は4年とし再任は妨げない。
5. 支部評議員の辞職は支部役員会及び支部社員総会において承認する。
6. 支部評議員の期中での辞職については、速やかに補充を行うこととし、支部役員会にて承認した上で、後日支部社員総会において追認する。なお任期は前任者を引継ぐこととする。

(地方会会長)

第8条 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」に定められた内容を遵守しなければならない。

2. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
3. 地方会会長は、地方会開催日程の決定を行う。
4. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
5. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
6. 地方会運営にあたる企画会社の選定は、会長一任とするが、企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
7. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設しなければならない。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
8. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部名誉会員)

第9条 支部規程第4条2項に定める支部名誉会員は、東北地区単独の支部社員総会において選任する。

2. 支部名誉会員の被推薦資格は、支部社員総会開催日において年齢65歳以上（当日に65歳を迎える者を含む）の東北支部所属の会員であり、支部評議員を3期以上務めたものとする。
3. 支部名誉会員は、支部評議員会に出席することができる。また、支部社員総会にも出席することができるが議決権は有しない。
4. 支部名誉会員は、支部役員、支部幹事の兼務を不可とする。
5. 支部名誉会員は、永年資格とする。
6. 支部名誉会員の内、東北地方会で会長を務めた者、支部長を務めた者は、支部特別名誉会員と呼ぶ。処遇は支部名誉会員に準用する。

(支部社員総会、支部評議員会)

第10条 支部規程第13条に定める支部社員総会、支部規程第14条の支部評議員会は、同時開催することとする。

(支部事務局業務)

第11条 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

(地方会)

第12条 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は原則として毎年2回地方会を開催する。

2. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会東北地方会とする。
地方会運営に関するその他の事項は地方会運営要領に定めることとする。

(JCS-ITC 講習会)

第13条 支部規程第17条1項に定めるJCS-ITC講習会について、本支部はJCS-ITC業務担当幹事との協議により支部事務局において事務業務（受講者への連絡、受講料受付・謝金や立替金の精算等）を行う。なお、これらの事務業務について、円滑に業務を遂行することを目的として、支部役員会の承認のもと、外部業者へ業務委託を行っても構わない。委託範囲・経済条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。

2. JCS-ITC講習会の事務業務についてはJCS-ITC講習会事務要領に定めることとする。

附 則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 地方会運営要領

この地方会運営要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部（以下「本支部」という）において地方会を円滑に運営するために必要な事項を規定する。

(広 報)

1. 地方会会長は、地方会開催日程、会場、地方会会長事務局の担当者が決まり次第、本支部へ報告する。本支部は「地方会開催連絡票」を本会へ提出するとともに、本支部ホームページに情報を掲載することとする。
2. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。

(会 計)

3. 地方会会長、または、支部事務局担当幹事は、開催前年度の支部役員会・支部社員総会に出席して、本部へ提出予定の地方会予算及び事業計画について事前に承認を得る。また、支部評議員会にて報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる
4. 地方会参加費は、正会員 3,000 円、コメディカル 1,000 円、初期研修医無料、学部学生無料とする。参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
5. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。なお寄付金受入先について、本会が禁煙宣言を行っている学会であることを鑑み、本会学術集会同様、日本たばこ産業・鳥居薬品からの寄付受入は禁ずる。
6. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部よりその経費を補助する。ただし、上限を 100 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
7. 地方会において男女共同参画セミナーを実施する場合は、本支部より講師招請経費を補助する。ただし上限を 20 万円とする。補助金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
8. 地方会開催にあたり開設する金融機関の口座名義は、「一般社団法人日本循環器学会 第〇〇回 東北地方会 会長 〇〇〇〇」とする。
9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いについて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会当日に徴収した参加費について、当日中に口座入金するか金庫に保管することとする。地方会終了後、翌営業日には口座入金することとする。
11. 教育講演の招請者への待遇について、謝金上限は演者 100,000 円（源泉税抜）、座長 50,000 円（源泉税抜）、交通費は実費支給とし、地方会当日、直接本人へ現金もしくは振込対応する。これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
12. 地方会で支払われた講演謝金及び会長校スタッフ臨時雇用費の源泉所得税は、地方会会長事務局において納付対応する。なお東北支部事務局から参加したスタッフ臨時雇用費は、東北支部事務局において納付対応する。
13. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
14. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会繰越金専用口座に振り込む

こととし、地方会開催に関係無い備品等の購入に充ててはならない。その後、口座は解約する。

15. 地方会の経費精算は、原則地方会終了後2か月以内に完了させ、入出金に係るすべての証憑を本支部に提出しなければならない。外部の団体から助成金・補助金を受けた場合は、交付決定通知書の控えも提出すること。
16. 地方会会長は、開催次年度の支部役員会・支部社員総会、支部評議員会に出席して、地方会決算及び事業内容の報告を行う。ただし、地方会会長の出席がかなわない場合は代理を立てることができる。

(会 議)

17. 支部役員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部事務局が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
18. 支部社員総会、支部評議員会を地方会当日に開催する。議案書及び議事録は本支部が作成することとする。地方会会長事務局は、本支部の求めに応じて当日の受付及び配布資料の準備等を行う。
19. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。

(演題募集)

20. 地方会会長は、演題募集スケジュールを決定し、「地方会演題募集ホームページ利用申請書」を本会及び本支部へ提出する。演題募集の開始日・締切日は前後に祝日のない火曜日から木曜日で設定すること。申請書の提出期限はオンライン演題募集システム利用開始の2カ月前とする。
21. 本支部は、オンライン演題募集システムの管理者用ID及びパスワードを地方会会長事務局へ通知する。なお、パスワードについては、本支部が毎年度更新することとし、変更後のパスワードを本会に通知する。
22. 募集締切日延長等の連絡は、混乱を避けるために必ず本会経由で行うこととする。

(専門医単位登録)

23. 地方会会長は、詳細が決まり次第「教育セッション開催届」ならびに「DVDセッション開催届」(DVDセッションを開催する場合に限る)を本会及び本支部へ提出しなければならない。
24. 地方会会長事務局は、地方会時に専門医単位登録(地方会参加5単位、教育セッション参加3単位、DVDセッション参加2単位)を行うこととするが、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
25. 教育セッション及びDVDセッションの専門医単位登録は、不正やミスを防止するため、時間を限定して行わなければならない。(例：セッション開始1時間(又は30分)前から終了30分前)
26. DVDセッションについて、同じ内容の講演会を学術集会及びインターネットで聴講したことがある会員は、単位加算ができない。地方会会長は事前にプログラム等でその旨を告知し、当日も会場に掲示すること。

(プログラム・抄録)

27. プログラムは、本学会会告（偶数月 25 日発行）への抱き合わせで本支部会員へ発送することができる。希望する場合は、「地方会プログラム冊子抱合発送申請書」を本会及び本支部へ提出すること。プログラム以外の発送物（チラシ等）があれば、その内容を申請書に明記すること。申請書の提出期限は、会告発行 1 か月前とする。
28. 抄録については、冊子発行を行わず本会ホームページに掲載する。本会ホームページへの掲載にあたり、抄録著者による校正は行わない。訂正等がある場合には、地方会終了後速やかに本会へ連絡することとする。なお、地方会会長事務局は、その旨をプログラムに記載し会員に告知すること。
29. プログラム完成後、本支部へ 2 部、本会へ 5 部を送付すること。
30. 地方会会長は、抄録データを本会に提出しなければならない。当日発表されなかった演題は抄録データとして扱わない。

(演題発表)

31. 地方会演者は、発表前のスライドにおいて定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
32. 日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award について
 - 1) 当支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」（東北地方会 YIA 「症例発表部門」「研究発表部門」）を設ける。
 - 2) 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法、演題応募要領は以下に記載する。ただし、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。

①応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。

東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

②対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題（ただし 1 科 1 演題）までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

③選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

④会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出し、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

⑤応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

⑥賞

部門毎に最優秀賞 1 名 (賞金 10 万円) および優秀賞若干名 (賞金 5 万円) と表彰状。同点の場合は要検討とする。会長奨励賞は 1 名 (賞金 5 万円と表彰状)。

⑦締切り

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

- 3) YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

(その他)

33. 会員への印刷物送付等の必要が生じた場合、本会へ「会員名簿・あて名作成依頼書」を提出して会員名簿及び宛名ラベルを請求することができる。会員情報のデータでの受け取りは原則不可とするが、例外的に申請する場合は、誓約書に会長の署名及び捺印が必要となる。
34. 地方会開催校については、公平を期すため各県で順番に開催する。なお、その順番等の変更については、支部役員会にて決定する。

附 則

- 1) この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
この要領改正は、支部長の判断に基づき、支部事務局にて変更して良い。なお、変更時は、支部役員会での追認が必要となる。

平成 年 月 日
東北支部事務局

一般社団法人日本循環器学会 東北支部 JCS-ITC 講習会事務要領

この事務要領は、一般社団法人日本循環器学会東北支部事務局において JCS-ITC 事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算等）を行うために必要な事項を規定する。

日本循環器学会は AHA(アメリカ心臓協会)と契約し、心肺蘇生法の教育を行う JCS-ITC(国際トレーニングセンター)を開設している。循環器専門医は心停止や心停止前後での蘇生や心拍再開後の集中治療を必要としていることから、AHA ACLS(二次救命救急措置)の資格取得を受験の条件としている。

また、医療従事者や一般市民向けのコースも開催しており、地域の救命率向上を目指していることから支部にてコース運営を行っており、それに付随する事務業務も支部事務局にて行っている。

※支部運営内規 第 6 条 3 にて定められる JCS-ITC 業務担当幹事はファカルティから選出される。

ファカルティは各コースの運営統括責任者であり、新たなインストラクターを教育する立場である。

1. 年 4 回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
2. コース開催日程は、支部ホームページに掲載することとする。
3. コース募集期間中、コースディレクター（以下、CD と略す）と連携を取り、受講者からの問い合わせ対応を行うこと。
4. 下記内容についての受講者への連絡を行うこと。
採択通知、追受講者の代理登録（CD より指示があった場合）、会場変更、コース中止
5. 講習会管理システムから受講者を確認し、受講者からの受講料入金確認を行うこと。
規定日までに入金を確認できない場合には、入金督促を行うこと。
6. 受講者より受講料領収書の発行依頼があった場合の発行手続きを行うこと。
7. 支部担当者が交代する場合には業務内容を明確の上、後任者へ引継ぎを行い、業務に支障が生じないようにすること。また支部担当者が急病等で業務を行えない場合は、事務局担当幹事より JCS-ITC 業務幹事に速やかに連絡をし、JCS-ITC 業務幹事と支部長において今後の対応を検討すること。
8. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。
9. 専用口座は、通帳管理者・印鑑管理者・キャッシュカード使用者（作成している場合のみ）を明確にし、一覧にして支部長へ提出しなければならない。（一覧に変更が生じた場合は随時、見直しを行い更新の上、提出する。）
10. 専用口座の通帳、印鑑は、使用者が施錠出来る場所に必ず保管しなければならない。また、キャッシュカード、パスワードについては使用者が変更となる度に変更しなければならない。
11. コース開催時にコースディレクター等が昼食代等の立替精算をした場合、必ず領収書（レシート可）を入手し、何を購入し、何に利用したのか、誰が立替えしたのか、分かるように領収書に記載（メモ書き可）の上、支部事務局へ提出すること。なおコース運営が参加者の受講料から成り立っていることを鑑み、不必要な経費支出は行っていない。

12. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクと各自立替えしたコース開催地までの交通費について、支部事務局へ報告しなければならない。支部事務局はコースディレクターからの報告に基づき、インストラクター・タスク一覧を作成する。
13. 各コースディレクターがコースに必要な資金を前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 業務担当幹事のメール承認を要する。
なお、JCS-ITC 業務担当幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
14. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛ての領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
15. 支部事務局は、インストラクター・タスク一覧、提出された旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金金額については本会、救急医療委員会において定められたとおりとする。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
16. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。
17. JCS-ITC 講習会運営専用口座で余剰金が 1000 万円を超えた場合、支部の JCS-ITC 講習会専用口座に資金を移行する。

附 則

- ・この要領は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- ・この要領改正は、支部役員会での決定を必要とする。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award 会則

1. 日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設ける。
2. 本会則は平成 21 年 2 月 14 日に開催される第 147 回東北地方会から有効とし、本会則の変更は総会で審議・決定される。
3. 東北地方会 YIA の応募資格、応募方法は演題応募要領に記載するが、地方会主催の当番校会長の裁定をもって変更は許可されるものとする。
4. YIA 選考委員会は大会長を選考委員長として、各県大学の循環器内科教授 6 名と大会長が選出する 6 名の選考委員の計 12 名で構成される。選考委員に代理を置く場合は、教授選考員の場合は教室の准教授または講師に委託し、その他の 6 名の選考委員については大会長が再度選出する。

日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award (東北地方会 YIA)

演題応募要領

趣 旨

日本循環器学会東北支部は、東北地区の循環器病学の発展と優秀な若手循環器専門医の育成を目的として、「日本循環器学会東北地方会 Young Investigator's Award」(東北地方会 YIA) を設け、毎回の東北地方会において、優秀演題の表彰を行う。

応募資格

日本循環器学会員であり、各地方会開催日において満 35 歳以下の方。
東北地方会において過去に YIA を受賞した者は、最優秀賞・優秀賞を問わず、同じ部門への再応募はできない。他部門への申請は可とする。

対象演題

日本循環器学会東北地方会で行われた循環器学に関する臨床・基礎研究、且つ、症例報告を受け付ける。発表時点で印刷公表されていない演題内容を対象とする。ただし、応募者は筆頭演者でありその内容に中心的役割を果たしたものであることを必要とする。他の学会賞への応募と重複しないこととし、各部門毎に 1 施設 2 題 (ただし 1 科 1 演題) までの応募とする。本 YIA は症例発表部門と研究発表部門それぞれで選考と表彰を行う。

選考方法

地方会演題募集時に YIA 応募希望を募り、地方会開催時には希望演題のみを対象とする YIA セッションを設ける。選考委員は本セッションに参加し、引き続き開催される YIA 審査委員会において厳重な審査を行う。症例発表部門と研究発表部門それぞれで最優秀賞 1 名および優秀賞若干名選定する。なお、希望演題数が各部門 5 題を超えた場合は、予め選考委員による第一次審査を行う。

会長奨励賞

YIA 希望演題の内、一般病院の演題から 1 題を会長奨励賞としてあらかじめ選出しておき、当日表彰が行われる旨を演者に通知する。ただし、この演題が YIA 最優秀賞または優秀賞に選出された場合は YIA を優先し、その回の会長奨励賞はなしとする。

応募方法

一般演題応募と同様に日本循環器学会ホームページより登録。Young Investigator's Award 応募希望者は応募資格を確認のうえ、「YIA に応募する」にチェックを入れ、症例発表部門と研究発表部門のどちらに応募するかを予め明記する。

賞

部門毎に最優秀賞 1 名 (賞金 10 万円) および優秀賞若干名 (賞金 5 万円) と表彰状。同点の場合は要検討とする。
会長奨励賞は 1 名 (賞金 5 万円と表彰状)。

締 切

一般演題締切日と同日とする。一次審査後採択されなかった場合は、自動的に一般演題に採択される。

第 163 回日本循環器学会東北地方会 YIA 審査委員

(敬称略)

青 森

弘前大学 循環器腎臓内科学
青森県立中央病院

准教授 富田 泰史
院 長 藤野 安弘

岩 手

岩手医科大学 循環器内科分野
岩手県立中央病院 循環器センター

教 授 森野 禎浩
センター長 中村 明浩

秋 田

秋田大学 循環器内科学・呼吸器内科学
秋田厚生医療センター

教 授 伊藤 宏
副院長 齊藤 崇

山 形

山形大学 内科学第一講座
山形県立中央病院

教 授 久保田 功
院 長 後藤 敏和

宮 城

東北大学 循環器内科学
国立病院機構仙台医療センター 循環器内科

教 授 下川 宏明
部 長 篠崎 毅

福 島

福島県立医科大学 循環器・血液内科学講座
大原総合病院

教 授 竹石 恭知
副院長 石橋 敏幸

日本循環器学会東北地方会（平成28年7月1日現在）

支 部 長	下川 宏明			
副 支 部 長	久保田 功			
理 事	下川 宏明	久保田 功	横山 齐 (外科分野/東日本地区)	
支 部 役 員	下川 宏明 (東北大学/支部長・理事)	久保田 功 (山形大学/副支部長・理事)	横山 齐 (福島県立医科大学/理事/外科分野)	
	伊藤 宏 (秋田大学)	中村 元行 (岩手医科大学)		
	竹石 恭和 (福島県立医科大学)	森野 禎浩 (岩手医科大学)		
	伊藤 貞嘉 (東北大学/その他分野)	齋木 佳克 (東北大学/外科分野)		
	富岡 智子 (みやぎ県南中核病院/女性分野)			
名誉特別会員	白土 邦男	平 則夫	丸山 幸夫	三浦 傅
名誉支部員	青木 孝直	芦川 紘一	池田 精宏	石出 信正
	伊藤 明一	猪岡 英二	今井 潤	大和田憲司
	岡林 均	小野 幸彦	門脇 謙	金澤 正晴
	金塚 完	木島 幹博	小岩 喜郎	後藤 敏和
	齋藤 公男	佐々木 弥	佐藤 昇一	鈴木 典夫
	高橋 恒男	高松 滋	立木 楷	田中 元直
	田巻 健治	布川 徹	星野 俊一	前原 和平
	三浦 幸雄	三国谷 淳	室井 秀一	元村 成
	盛 英機	保嶋 実	柳澤 輝行	山本 文雄
	渡辺 毅			

支 部 評 議 員	各県ごと五十音順、○印は社員（旧：全国評議員）			
青 森	佐々木真吾	富田 泰史	長内 智宏	花田 裕之
	平賀 仁	福田 幾夫	藤野 安弘	森 康宏
岩 手	伊藤 智範	小松 隆	佐藤 衛	瀬川 郁夫
	田代 敦	中村 元行	野崎 英二	蒔田 真司
	○森野 禎浩			
秋 田	阿部 芳久	飯野 健二	○伊藤 宏	小林 政雄
	齋藤 崇	鈴木 泰	田村 芳一	中川 正康
	長谷川仁志	○渡邊 博之		
山 形	池田こずえ	池野栄一郎	石井 邦明	小熊 正樹
	金谷 透	○久保田 功	貞弘 光章	菅原 重生
	廣野 撰	福井 昭男	松井 幹之	宮脇 洋
	○渡邊 哲			
宮 城	○伊藤 健太	○伊藤 貞嘉 ³	井上 直人	加賀谷 豊
	上月 正博	小丸 達也	○齋木 佳克 ¹	西條 芳文
	坂田 泰彦	○下川 宏明	○富岡 智子 ²	○福田 浩二
	○堀内 久徳	山家 智之		
福 島	石川 和信	石橋 敏幸	○齋藤 修一	齋藤 富善
	佐藤 匡也	杉 正文	○竹石 恭知	武田 寛人
	○横山 齐 ¹			

1. 外科分野、2. 女性分野、3. その他の分野

会 計 監 事	石出 信正	猪岡 英二
幹 事	支部事務局担当幹事：福田 浩二（東北大学）	
	JCS-ITC 講習会担当幹事：花田 裕之（青森県立中央病院）	
	幹事：坂田 泰彦（東北大学）	